

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウォッシュ液

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 コマツ純正ウインドウォッシュ液  
 製品分類 ウインドウォッシュ液  
 主な用途 自動車のウインドシールドガラスの油膜洗浄

会社名 シーシーアイ株式会社  
 住所 〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12  
 担当部門 カーケミカル事業部 技術部  
 電話番号 0575-24-4161  
 FAX 番号 0575-24-4854  
 発行日 2021 年 2 月 22 日

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

## 物理化学的危険性

引火性液体 区分 3

## 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2

生殖毒性 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1 (肝臓)

区分 2 (中枢神経系)

## GHS ラベル要素



## 絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H226 引火性液体及び蒸気  
 H319 強い眼刺激  
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 H335 呼吸器への刺激のおそれ  
 H336 眠気又はめまいのおそれ  
 H372 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器(肝臓、中枢神経系)の障害

## 注意書き:

安全対策 P210 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 P233 容器を密閉しておくこと。  
 P240 容器を接地しアースをとること。  
 P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。  
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。  
 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウォッシュ液

	P264	取扱い後は取扱い物質と接触した身体の各部位をよく洗うこと。
	P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
	P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
	P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを避けること。
	P271	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
	P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
	P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	P303+P361	皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
	+P353	皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
	P370+P378	火災の場合：消火のために指定された消火剤を使用すること。
	P305+P351	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを
	+P338	着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
	P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
	P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
保管	P321	特別な処置が必要である。(詳細は4項を参照のこと)
	P405	施錠して保管すること。
	P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
	P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄	P501	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別      混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 wt%	CAS No	化審法 No.	労安法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
エタノール	51	64-17-5	2-202	61	非該当	非該当

注記 化審法 No : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示番号

労安法 : 労働安全衛生法

PRTR 法 : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律

毒劇法 : 毒物及び劇物取締法

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

吸入して気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眠気やめまいの症状が出た場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態で休息させる。

呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。

吸入の影響が遅れて現れることがある。

上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウォッシュ液

#### 皮膚に付着した場合

多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯すること。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること。

#### 飲み込んだ場合

直ちに水で口の中を洗浄する。

直ちに医師の診断を受けること。

無理に吐かせないこと。

子供などが飲み込んだ懸念がある場合、医師の診断を受けること

#### ばく露又はばく露の懸念がある場合

医師の診断を受けること。

---

## 5. 火災時の措置

**消火剤** 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水

**使ってはならない消火剤** 水を消火に用いてはならない。

**火災時の特有の危険有害性** 燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

#### 消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

周辺の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

#### 消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

こぼれた場合はすべりやすいために注意する。

多量の場合、人を安全に退避させる。

#### 保護具及び緊急時措置

屋内で漏洩した場合は、十分に換気を行なうこと。

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウウォッシュ液

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

#### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

#### 封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等よく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

有害でなければ、火気、換気等に充分注意して蒸発、拡散させる。又は、散水して蒸発を促進させてもよい。

回収後の少量の残留物は土砂またはおがくず等に吸収させる。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理する。

#### 二次災害の防止策

漏出時は事故の未然防止および拡散防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱上及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準を満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。

#### 注意事項

換気の良い場所で使用すること。

#### 安全取扱注意事項

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。

容器は接地(アース)をすること。

防爆型の電気機器(換気装置、照明機器等)を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所に保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

#### 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 (ACGIH)
エタノール	データなし	1000ppm

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウウォッシュ液

**設備対策**

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

屋内で使用する場合は、局所排気装置を設置する。

労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)に沿った設備を設置する。

屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気が発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

**保護具**

<b>呼吸器の保護具</b>	保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。
<b>目の保護具</b>	保護眼鏡、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。
<b>皮膚の保護具</b>	保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋を着用すること。
<b>その他</b>	必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。 導電性安全靴

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態	: 液体
色	: 青色
臭い	: エタノール臭
融点/凝固点	: < -30°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 65~100°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし(エタノールとして上限 36.5%、下限 6.72%)
引火点	: 25°C
自然発火点	: データなし(エタノールとして 395°C)
分解温度	: データなし
pH	: 7.8 (25%水溶液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数(Log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし(エタノールとして 12.7kPa (95mmHg, 20°C))
密度及び/又は相対密度	: 0.91 g/cm <sup>3</sup> (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

**10. 安定性及び反応性****反応性**

<b>安定性</b>	通常の手扱いにおいては安定である。
<b>危険有害反応可能性</b>	強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。
<b>避けるべき条件</b>	加熱、熱源、裸火 強酸化剤との接触を避ける。
<b>混触危険性物質</b>	強酸化剤(引火性物質のため、強酸化剤との接触を防ぐこと)。
<b>危険有害な分解生成物</b>	特になし。

**11. 有害性情報**

製品に対する有害性情報	有用な情報なし
-------------	---------

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウォッシュ液

## 組成物質に関するその他の有害性

項目	エタノール
急性毒性(経口)	ラット LD <sub>50</sub> 6,200 - 17,800 mg/kg
急性毒性(経皮)	うさぎ LD <sub>50</sub> 20,000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(肝臓) 区分 2(中枢神経系)
誤えん有害性	分類できない

## 12. 環境影響情報

製品に対する有害性情報

有用な情報なし

組成及び成分物質に関する有害性

項目	エタノール
水性環境有害性 短期(急性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類(ニジマス) 96 時間 LC<sub>50</sub> 11,200 mg/L</li> <li>・藻類(クロレラ) 96 時間 EC<sub>50</sub> 1,000 mg/L</li> <li>・甲殻類(オオミジンコ) 48 時間 EC<sub>50</sub> 5,460 mg/L</li> </ul>
水性環境有害性 長期(慢性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲殻類(ニセネコゼミジンコ属の一種) 10 日間 NOEC 9.6 mg/L</li> </ul>

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに委託して処理する。

焼却処理をする場合、安全な場所で且つ燃焼ガスに注意し、他に危害または損傷を及ぼす恐れのないように注意すること。

## 汚染容器・包装

製品が付着している容器も、廃棄物として適切に処理すること。

容器、機械装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

SDS 登録 No. 00104211-JP1

製品名: コマツ純正ウインドウォッシュ液

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

国連番号	1987
品名	ALCOHOLS N.O.S.
国連分類	3
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当

##### 国内規制

###### 陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

###### 海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

###### 航空輸送

航空法に定めるところに従う。

緊急時応急措置指針番号 129

---

#### 15. 適用法令

消防法 非危険物

##### 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (エタノール)

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (エタノール)

3.組成、成分情報に記載

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

水質汚濁防止法

海洋汚染防止法

---

#### 16. その他の情報

##### 参考資料

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改定版(日本オートケミカル工業会)

溶剤便覧

危険防災救急便覧

急性中毒処置の手引

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 (JIS Z7253:2019)

---

#### 注意

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。